



## 「最高の生き方がここにある！」

～すべてのマイナスは必ずプラスになる～

「そして私たちは、人が神を愛し、神の計画どおりに歩んでいるなら、自分の身に起こるすべてのことが益となることを知っている！/And we know that in everything God is working for the good of those who love Him. These are the people God chose, because that was His plan.」

ローマ人への手紙8章28節[アライブ訳/ERV]

「人生は出会いで決まる」と言いますが、それは本当のことだと思います。様々な出会いによって私たちの人生は方向づけられていきます。

このローマ人への手紙を書いた、伝道者パウロもイエス・キリストとの出会いによって、その人生が180度変えられた人物でした。それまで、ユダヤ人の中でもエリートの世界を歩いていました。しかし、その世界で常識と思われていたことが、イエス・キリストの出現によって、その世界が変えられていきました。その後、パウロ自身も、キリストとの出会いによって、その考え方、生き方そのものが変わってしまったのです。イエス・キリストが何か偉いことをした単なる「偉人」であればその影響力は一時的なものでしたが、イエス・キリストは単なる「偉人」ではなく、人類の救世主であり、神そのものであったということが分った時のパウロの変わりぶりは、人が変わったというくらいではなく、気が狂ってしまったと思われたほどでした。

私たちの人生を根本的に変えてしまうほどの出会いということは人生の中でそう多くはないと思います。それは、私たちがいつどのご両親のもとに生まれたか？（誕生）。そして、どんな人と生涯を共にするか？（結婚）。そして、いつどんな風に死んでいくのか？（死）ということほど大きな転機はないと思います。

キリスト教では、キリストを信じてクリスチャン(キリスト教徒)となることを、「救われる」と言います。そして、クリスチャンになるときは、新しい人生がスタートします。いわゆる、肉体をもってこの世に生を受けたその肉体の命を越えた、永遠の命を与えられ、死んでしまう人生とお別れして、新しい神の子としての永遠の人生が始まったと信じます。ですから、クリスチャンの人生の中で「救われる」という出来事は、この世に生を受けたということ以上にセンセーショナルな出来事なのです。だからこそ、パウロはキリストに出会ったことを大いなることとし、その結果、自分の人生の中で起こるすべてのことは神が導かれることで、その結果なされることはすべて益「Good」であるのだ！と宣言したのです。

私たちの人生の中で起こるすべての出来事。たとえ、それが受け入れがたいことであっても、私たちが神を愛し、神に祈る中で、そのすべてが「善」なることとして、大いなるプラスとして、私たちの人生にとっての豊かな財産として与えられたものなのだと信じて歩むことができるということは何と幸いなことであるかと思えます。そのように考えるならば、私たちの将来は希望で満ち溢れていると確信することができるのです。